

誓う 友好・恒久平和

中国人殉難者の慰霊式

慰霊の言葉を述べる小畑市長



市主催の中国人殉難者慰霊式が6月30日、十瀬野公園墓地の慰霊碑前で行われました。47年前、中国から強制連行、食料不足と過酷な労働で、多くの犠牲者を出した花岡事件。参列者は犠牲となった人たちのめい福を祈り、平和への誓いを新たにしました。

1000人が参列 めい福を祈る

慰霊式には、小畑市長をはじめ桜庭市議会議長、市民のほか、中国大使館員や事件当時の中国人生存者、遺族ら約百人が出席しました。

はじめに小畑市長が「花岡事件は、戦時下という異常な中で起こったとはいえ、事実を忘却し、風化させてはいけません。この日を、日中不再戦・友好の日」と心に刻み、日中国交回復二十周年を機に、両国の恒久平和の輪を市民とともに広げていきます」と慰霊の言葉を述べました。続いて、中国大使館の王泰平政務参事官が「慰霊碑は時代を



花を捧げ、めい福を祈る参列者

映す鏡として、また両国の恒久平和を誓う友好のシンボルとして、いつまでも残していきたい」と述べました。

この後、中国人生存者と遺族を代表して事件当時の副隊長だった李克金さんが「亡き友よ、謹みて盃をあげ哀悼の意を献ぜん。安らかなれ」との祭文を朗読しました。最後に参列者全員が献花して、不再戦を誓うとともに平和の尊さをかみしめました。

また、市民団体主催による、「中国人強制連行フォーラム in 大館」が六月二十七日から三十日まで、労働福祉会館などを会場に行われました。写真展や事件の実態報告があり、多くの市民の関心を集めました。

ご覧ください『北緯15°のデュオ』

非核・平和を願う映画会



監督・根本 順善
演出・川谷 拓三
阿部 寿美子
烏丸 せつ子

（あらすじ）
フィリピン・マバラカット町は、神風特別攻撃隊が初めて編成された場所だった。拓三の旅の目的は二十歳そこそこで恋も知らずに散っていった若者たちの魂の叫びに触れること。マバラカットには、特攻隊員たちが生活していた家が出撃当日のまま残されていた。

大館・平和を願う市民の会では、今年も映画会を開催します。上映作品は、太平洋戦争でフィリピンに散った若者たちの足跡を訪ねる『北緯15°のデュオ』。終戦から四十七回目の夏が近づいてきました。平和の尊さを改めて考えてみませんか。
とき・7月30日(木)、31日(金)
18時30分、20時40分
ところ・市民文化会館
料金・前売り (500円)
(当日は700円)
※小学生未満は無料です
※前売り券は下記プレイガイドでお求めください
同時上映
カラメ 『日本国憲法』
* * * *

世界の平和 写真・ポスター・図書展

同時開催

とき・7月30日(木)、31日(金) 9時～19時
ところ・中央公民館展示室 ※入場無料

プレイガイド

北生協(駅通り、常盤木町、片山各店)、いとくショッピングセンター、アツマ書店(御成町1丁目)、木村商店(有浦5丁目)、又久書店(大町)、正札竹村(大町)、重幸堂書店(馬喰町)、ジャスコ(御成町2丁目)、たなや文具店(部垂町)、BOOKSひびき(鶴釣)、石川書店(新町)、ブックス・アピア(片山3丁目)、大森商店(花岡)、ジャボン洋菓子(川原町)、健生堂(田町)、阿部履物店(十二所)、松屋(比内町)